

CONNECTED DEVELOPMENT

204億個

のネットワーク・デバイス
2020年見込み*

70%

の企業が現在、IoTデータを
分析・活用していない*

99%

の(IoTデバイスから生じた)
データが活用されていない*

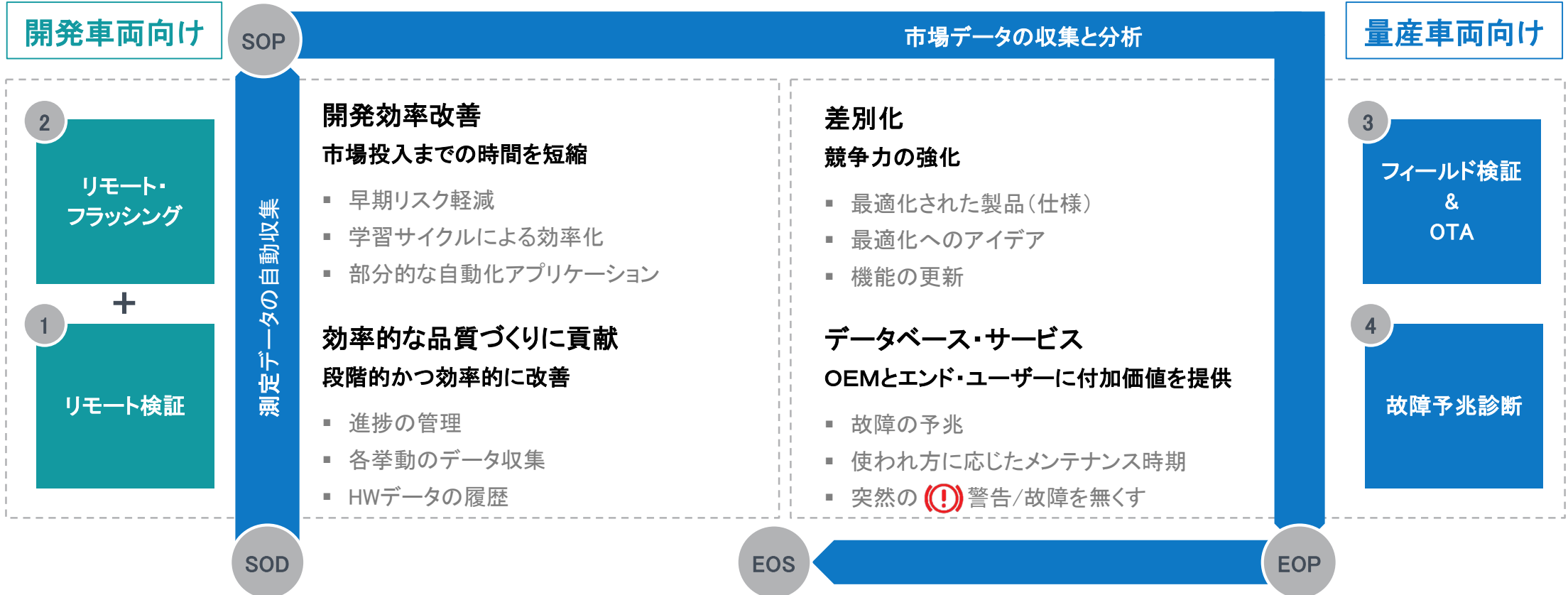
#IoT
#LikeABosch



コネクテッド・デベロップメント & データ活用サービス

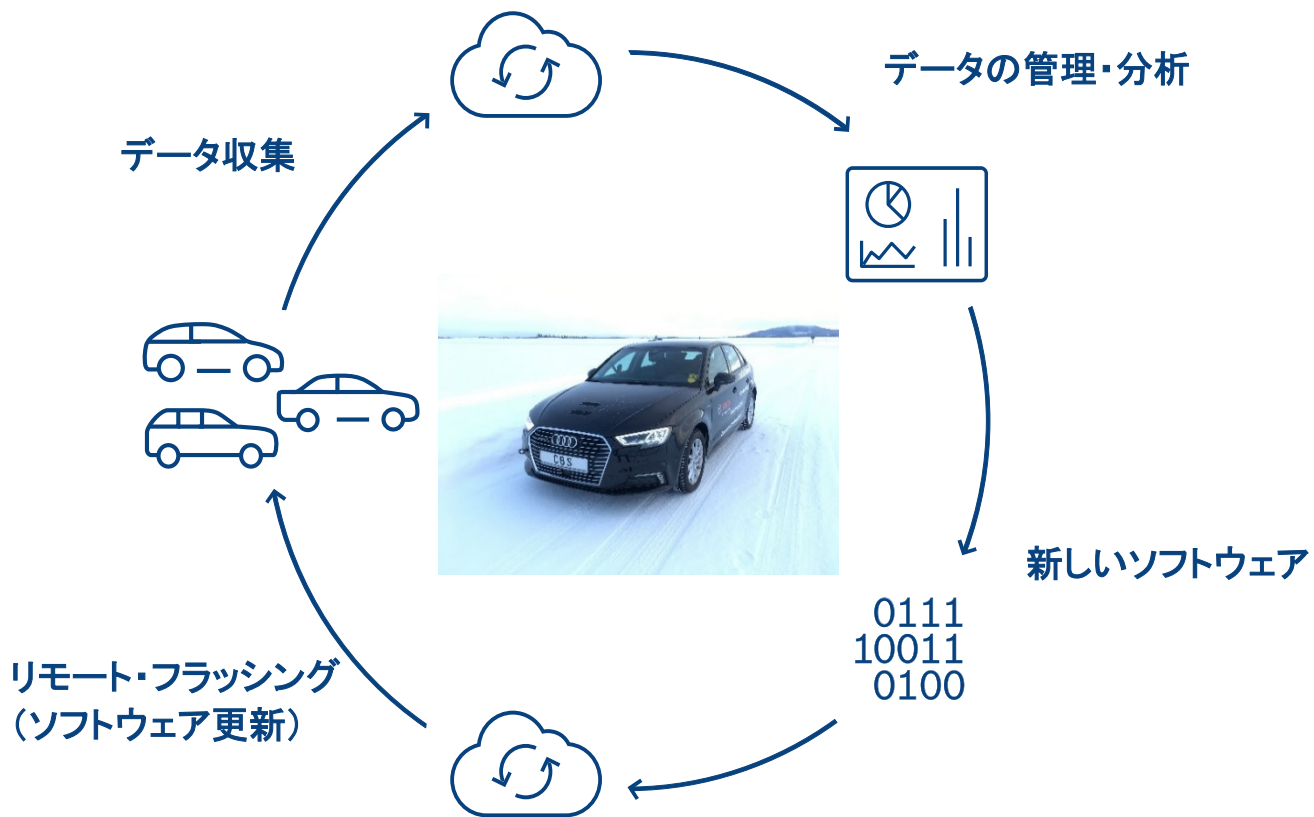
製品ライフサイクルと価値

SOD Start of Development (開発スタート)
 SOP Start of Production (量産開始)
 EOP End of Production (量産終了)
 EOS End of Support (サポート終了)
 OTA updates Over The Air (SWの無線更新)



コネクテッド・デベロップメント & データ活用サービス

データに基づいた開発サイクル



開発効率の改善



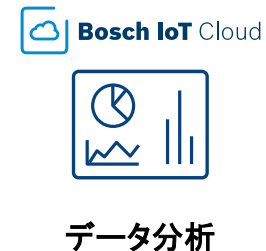
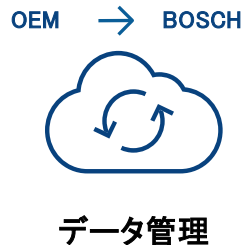
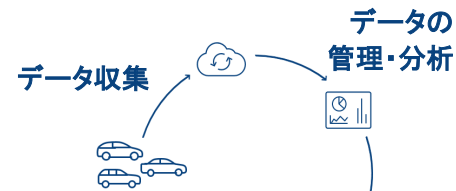
開発品質の維持



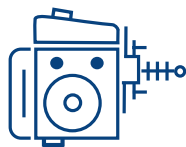
フィールド検証

コネクテッド・デベロップメント & データ活用サービス

バリュー・チェーン – ブレーキ・データの場合 –



コネクテッド
ブレーキ・システム



→ 0111
10011
0100

データ・クライアント – ベネフィット

- ▶ **部品の内部情報にアクセス**
: 通常の車両ネットワークではアクセス不可
- ▶ **関連データに絞って収集 (スマート・データ)**
: サービス/機能に基づく信号をモニタ
- ▶ **開発車両向け/量産車両向けに応じ構成可能**
+ **スタンダードI/F (車両ネットワーク/ CCU)**

データ・クライアント – 主なタスク

- ▶ トリガー(ブレーキ、初期フェールなど)による**イベント検知**
- ▶ **データの一時保存に、**部品ECUの内部RAMバッファを活用(FIFO)
- ▶ **データ送信は、**車両ネットワーク上での多様な信号プロトコル(CAN/FR)および診断セッションを經由

THANK YOU